CITIZEN®

取扱説明書

この時計は、バンドをのぞく全ての修理が「メーカー修理」となります。修理、点検の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

All parts of this watch, excluding the band, are to be repaired only by CITIZEN. Please have all inspections and repairs at a customer support center.

このたびは、シチズンウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

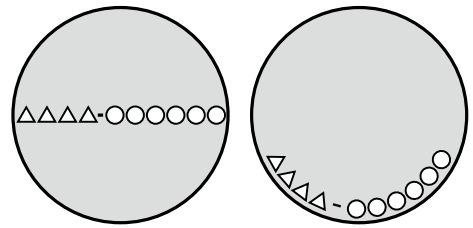
シチズンのホームページ(http://citizen.jp/)でも操作説明をご覧いただけます。

また、モデルによっては、外装機能(計算尺、タキメーターなど)が掲載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。(右図)
この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4桁が機種番号になります。右の例では「△△△△」が機種番号です。

刻印の位置の例



時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために―必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。絵表示の意味をよく理解してから、34～43ページを必ずお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

《保護シールについて》

時計のガラスや金属部分（裏ふた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

《バンド調整について》

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

この時計の特長

この時計は、福島と九州の電波送信所から送信される標準電波（時刻情報）を自動的に受信環境の良い局を選んで受信し、時刻を自動修正する電波時計です。

また、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させる光発電機能を持ったエコ･ドライブ(光発電)電波時計ですので、光を当てる事により充電する事ができます。

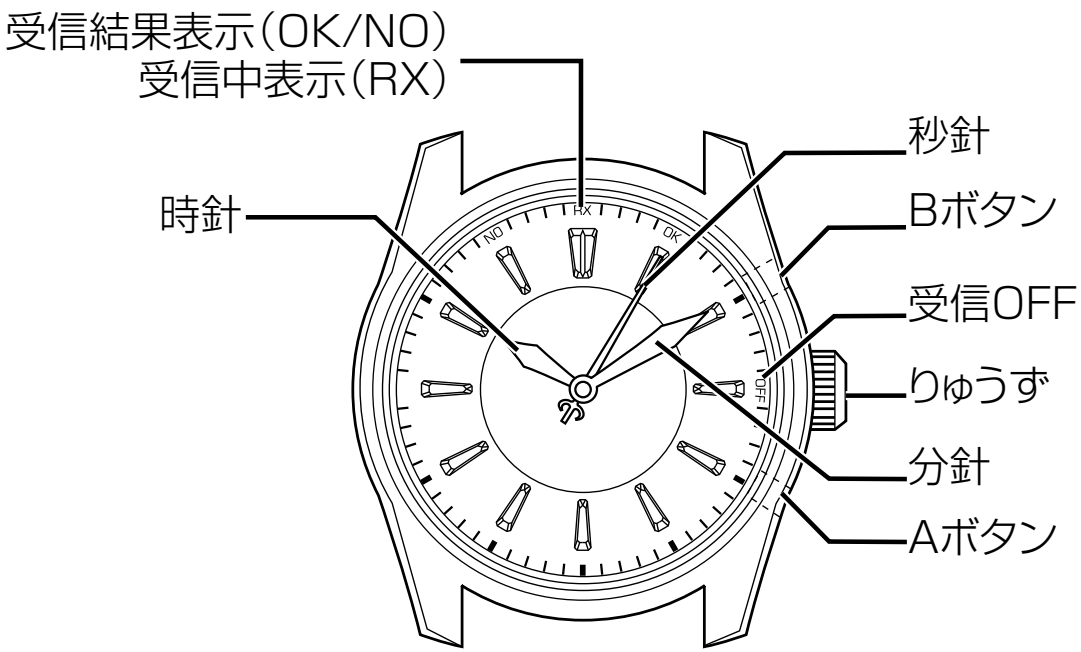
ソーラーセル（文字板面）に光が当たっていないときの時計の電力消費を抑える、パワーセーブ機能等も搭載しています。
（H330,H331,H338はパワーセーブ機能なし）

受信のON/OFF選択機能付きです。

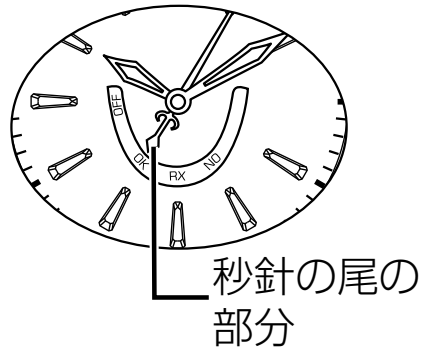
もくじ

各部の名称 6
電波受信結果を確認する 8
電波受信について 10
電波を手動で受信する
（強制受信） 16
電波受信のON/OFF 18
充電について 20
エコ･ドライブ(光発電)電波時計
特有の機能について 24
時刻を手動で合わせる 26
基準位置を確認･修正する 30
困ったときは 32
エコ･ドライブ(光発電)
取り扱い上の注意 34
防水性能について 36
お取り扱いにあたって 38
保証と
アフターサービスについて . 44
製品仕様 46
お問い合わせ窓口 48

各部の名称



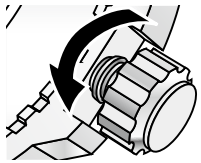
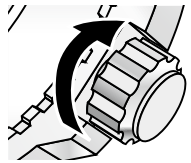
- 秒針の尾の部分(秒針の針先が短い方)で受信結果をお知らせするモデル



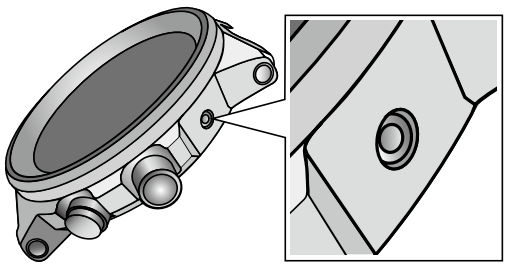
- 本書では、受信結果が12時側に表示されているイラストで説明しています。
- お買い上げいただいた時計とイラストは異なる場合があります。
- 文字板の下面にソーラーセルが配置されています。

ねじロックりゅうずの使いかた

モデルによって、りゅうずやボタンが、ねじロック式の場合があります。
時計を操作しないときにりゅうずやボタンをロックすることで、誤操作を防ぐことができます。時計を操作するときは、ロックを解除してください。

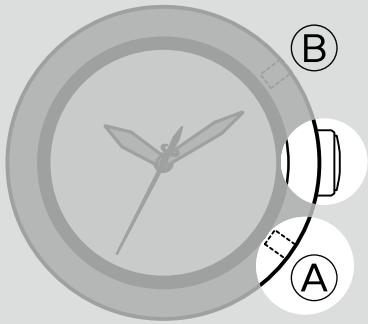
	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	 りゅうずが飛び出すまで、左に回す	 りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める

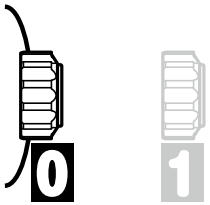
《隠しボタンの使い方》



ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

電波受信結果を確認する





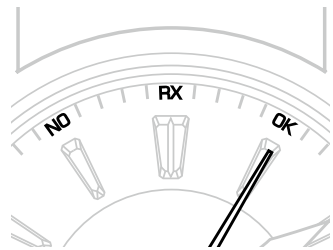
りゅうずの位置

1. りゅうずの位置を 0 にする

2. Aボタンを押す

秒針が動き、前回の電波の受信結果を指します。

OK	受信に成功しました
NO	受信に失敗しました



受信に成功している場合

受信に失敗している場合は、
*16*ページをご覧ください。

3. Aボタンを押す

現在の時刻に戻ります。

- ボタンを押さなくても、約10秒すると現在の時刻に戻ります。

【注意】

Aボタンを2秒以上押し続けると、秒針がRX（12時位置）に移動し強制受信を開始しますので、2秒以上押さないでください。

【秒針がOFF（3時位置）を表示した場合】

◎ 受信機能がOFFにセットされています。
OFF状態では定時･強制受信共に行いません。
受信機能ONへの切替方法は***18***ページ「電波受信のON/OFF」を参照ください。

電波受信について

電波受信の方法について

この時計は、次の3つの方法で電波を受信します。

受信方法	概要
定時受信 (自動受信)	一日に一度午前2時に自動で受信します。失敗した場合は、午前3時、午前4時にも受信します。
強制受信 (手動受信)	必要なときに、手動で電波受信を行うことができます。 (→16ページ)
復活自動受信	充電不足により時計が止まった場合、十分に充電されると、自動で受信が開始されます。

前回受信した電波受信の結果(受信の成否)をお知らせする機能を搭載しています。(→***8***ページ)

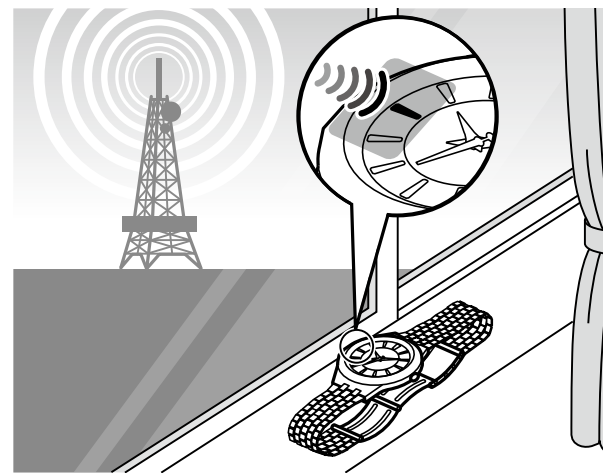
電波受信ON/OFF機能を搭載しています。(→***18***ページ)

- 電波を正しく受信しても、受信環境や時計の内部処理により、時刻表示にわずかなずれが生じることがあります。
- 電波が受信できない場合でも、時計は月差±15秒以内の精度で動き続けます。

電波を受信するときは

電波を受信するときは時計を腕から外し、窓際など電波を受信しやすい安定した場所に置きます。

- 電波受信用のアンテナは、この時計の9時位置に組み込まれています。時計の9時位置を電波送信所の方向に向けて置いてください。
- 電波の受信中（秒針が「RX」を示しているとき）は、時計を動かさないでください。
- 秒針が2秒ごとに動いているとき（充電警告中）は、電波受信は行われません。先に、充電を行ってください。



標準電波について

この時計は、標準電波送信所から送信される標準電波を受信し、時刻を自動修正する電波時計です。受信できる送信所は次のとおりです。

送信所	標準電波
日本　おおたかどや山電波送信所(福島局)	JJY
日本　はがね山電波送信所(九州局)	

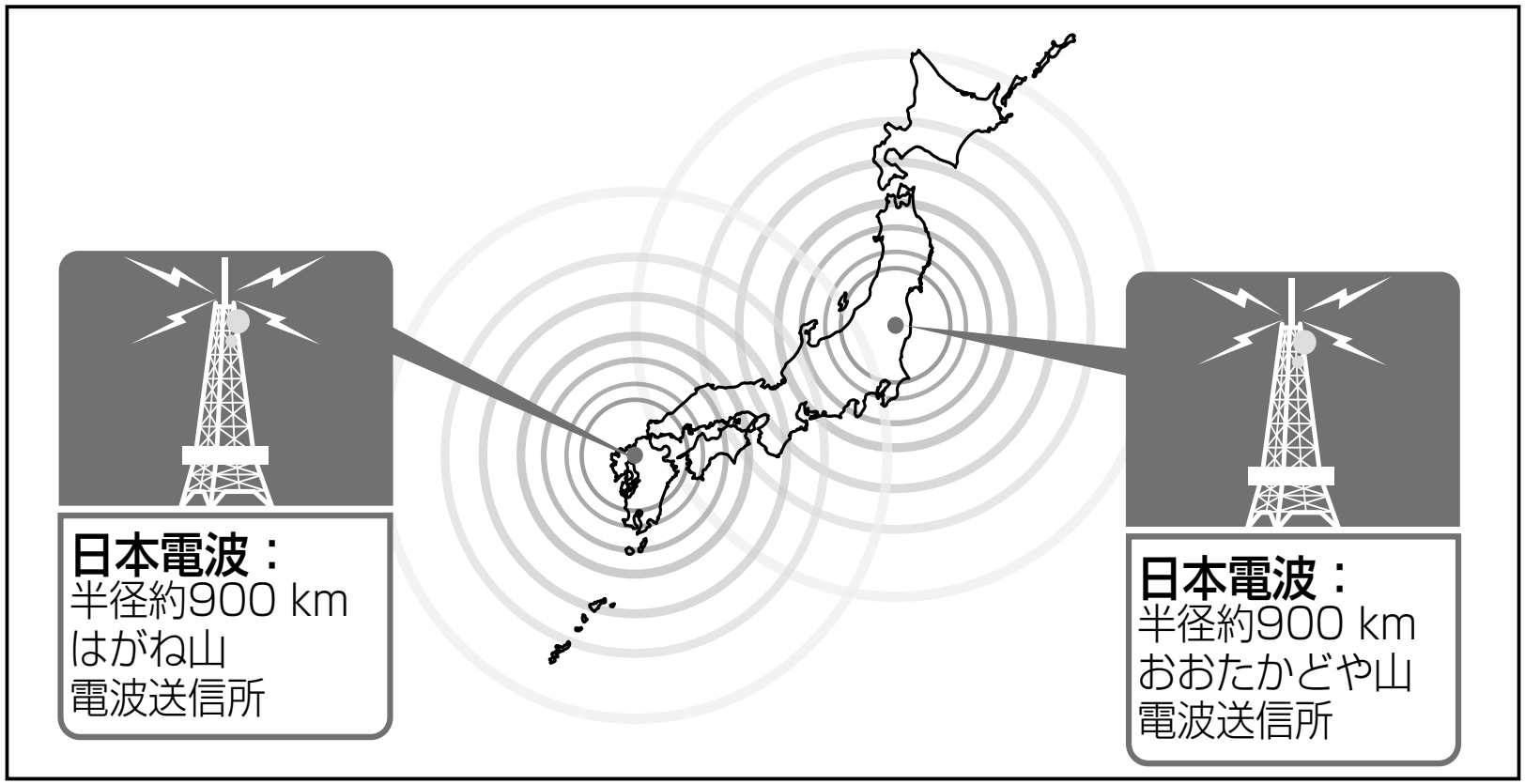
各送信所の位置と受信可能範囲の目安は、***13***ページの図をご覧ください。

日本国内の標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守点検等で送信が中断されることがあります。標準電波の送信状態の確認は、情報通信研究機構･日本標準時プロジェクトのホームページ(http://jjy.nict.go.jp/)をご覧ください。

標準電波は、人体や医療機器には一切影響がありません。

受信可能範囲の目安

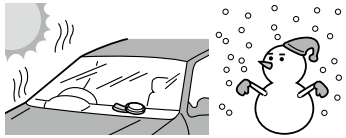
距離は目安としてご利用ください。受信可能地域は、時間帯、季節変化、天候（雷など）などの影響により、変化する場合があります。



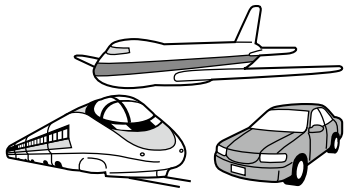
受信が困難な場所

次のような電波ノイズが発生しやすい場所や、標準電波の届きにくい環境では、電波を受信できないことがあります。

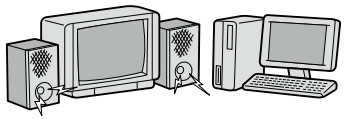
- 極端に高温や低温の場所



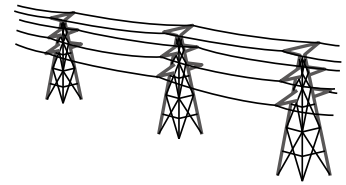
- 乗り物の中



- 電化製品やOA機器の近く



- 高圧線（電線）、電車の架線、飛行場（通信施設）の近く



- 鉄筋コンクリートの建物の中、高層ビルや山などの谷間、地下

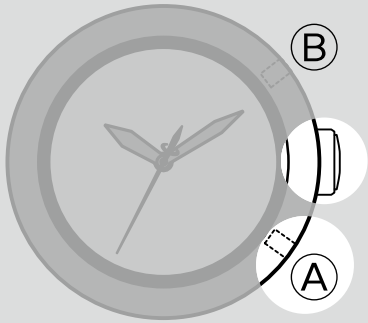
- 通話･通信中の携帯電話の近く

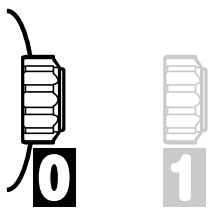
電波受信がうまくいかないお客様へ

電波受信には、周囲の環境も大きく影響する場合があります。
お近くに高圧線があるなど、電波受信が困難な場所であることも考えられます。お近くの送信所の位置（→***13***ページ）などを参考に、受信しやすい場所を探してください。
その後、送信所方向の窓際に時計を置いて、手動での受信（→***16***～***17***ページ）をお試しください。

電波受信がうまくいかないお客様には、電波送信所の方向を示した地図をご希望によりお送りいたしております。
「シチズンお客様時計相談室」（TEL: 0120-78-4807）へご依頼ください。

電波を手動で受信する ー強制受信ー





りゅうずの位置

前回の定時受信に失敗していたり、時刻の表示がずれている場合、手動で電波を受信することができます。

- 秒針が2秒ごとに動いているとき（充電警告中）は、電波受信は行われません。先に、充電を行ってください。

【注意】

RXへ針が停止してもそのままボタンを押し続けると電波受信OFFに切り替わりますので、ご注意ください。

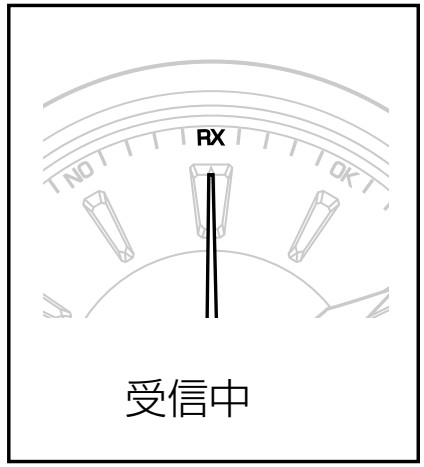
1. りゅうずの位置を 0 にする

2. Aボタンを2秒以上押す

秒針が「RX」を指し、電波受信を始めます。

- 受信が完了するまでに、2分から15分程かかります。

受信に成功した場合	修正された時刻を表示します
受信に失敗した場合	時刻は修正されず、現在の時刻に戻ります



受信中

受信を中断したい場合

Aボタンを2秒以上押す

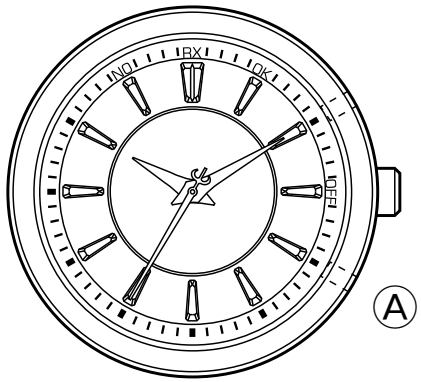
電波の受信を中断して、現在の時刻に戻ります。

電波受信のON/OFF

電波を受信させたくない場合は受信OFF機能をご使用ください。
海外でもまれに受信する地域では、受信OFF機能で受信を停止させる事により日本の時刻へ戻る事を防ぎます。

受信OFFへの切替

受信OFF状態では定時／強制受信共にできませんので、時計は月差±15秒の精度で動きます。



1. りゅうずの位置を 0 にする

2. Aボタンを7秒以上押す

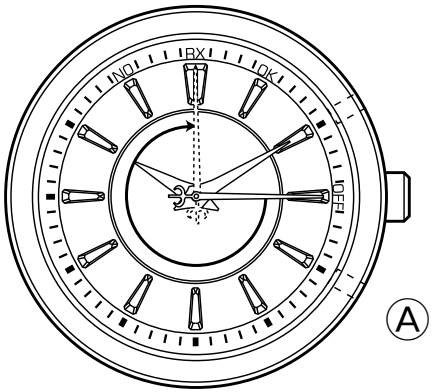
秒針が「OFF」（3時位置）を指します。
停止（約10秒）後または、Aボタンを押して離すと、通常運針に戻り受信OFFになります。

【注意】

秒針がRXを指している時にボタンを離すと、強制受信を開始しますのでOFFへ移動するまで離さないでください。

受信ONへの切替

受信OFF状態を解除し、定時／強制受信ができます。



1. Aボタンを7秒以上押す

秒針がOFF位置からRX（12時位置）に移動したら、ボタンを離します。

- 秒針がRX位置に停止後、通常運針に戻り受信ONになります。
- 受信OFFからONに切替後は、強制受信または、定時受信を行い時刻を合わせてください。

充電について

この時計は、電気エネルギーを蓄える二次電池を内蔵しています。文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより、充電できます。

時計を快適にお使いいただくには

時計を快適に使用するために、次のことを行ってください。

- 月に一度は5～6時間直射日光に当てて充電する。
- 時計を外したら、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く。
- 時計を光の当たらない場所で長期保管するときは、保管前に十分に充電する。

また、衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。

高温下（約60℃以上）での充電はおやめください。

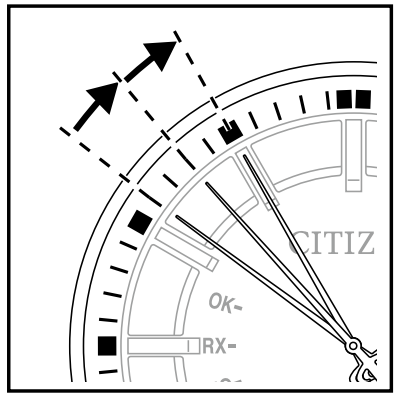
充電不足になると(充電警告機能)

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒毎に動きます(2秒運針)。文字板に光を当てて充電してください。

- しばらく充電すると、秒針が1秒毎に動くようになります(通常運針)。
- 2秒運針が2日以上続くと、充電不足で時計が停止します。

【注意】

- 2秒運針している場合でも、時刻は表示されます。その他の操作はできません。
- 「受信」「受信結果の確認」「時差修正」「基準位置の確認／修正」の最中に充電不足が発生すると自動的に操作を中断し、操作前時刻に戻り、2秒運針を始めます。



過充電防止機能

文字板に光が当たり、二次電池がフル充電になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。

環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ（lx、ルクス）	充電時間（約）		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	4分	45分	13時間
屋外（曇天）	10,000	12分	2時間	50時間
30W蛍光灯の20cm下	3000	40分	3時間～5.5時間	120～170時間
屋内照明	500	4時間	40時間	―

パワーセーブ機能 ー H330,H331,H338を除く

ケースの中など暗所に時計を保管し、連続7日間以上文字板に光が当たらない状態が続くと、分針と秒針を自動的に停止して、内蔵電池の消耗を抑えます。このとき針の動きは止まりますが、分･秒は時計の内部で刻み続けています。

- りゅうずの位置が **1** のときは、パワーセーブ機能は働きません。
- 手動でパワーセーブ機能を働かせることはできません。

パワーセーブを解除するには

文字板に光が当たり充電が始まると、パワーセーブは解除され、時刻の表示になります。

パワーセーブが解除された後は、手動で電波を受信し、時刻を合わせてください。受信の方法は、***16***～***17***ページをご覧ください。

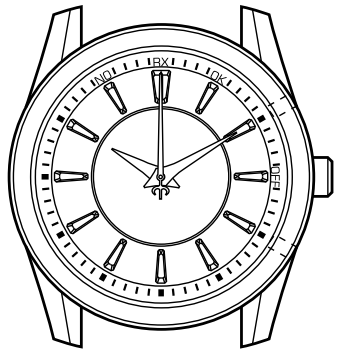
エコ･ドライブ(光発電)電波時計特有の機能について

この時計は、充電不足になると表示が次のように切り替わります。

【通常表示】

受信に成功すると
*2.

【復活自動受信】

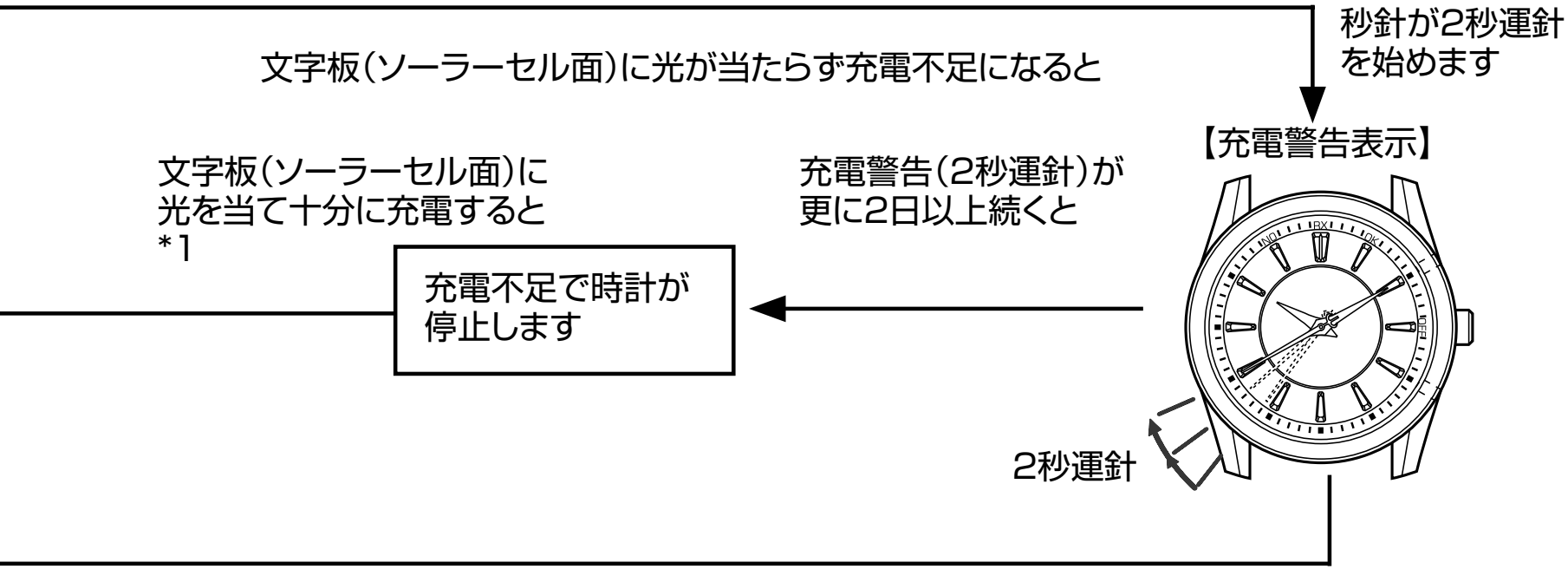


自動的に1度受信を
行います

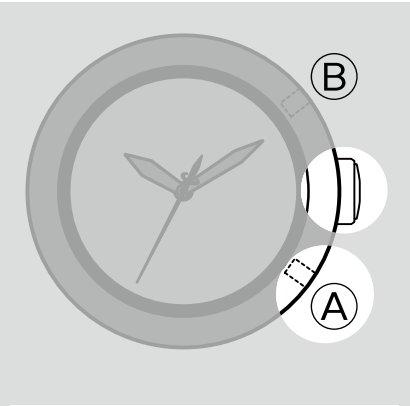
充電されてくると

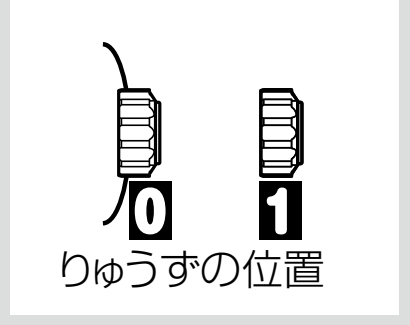
*1. 充電不足で停止した場合、十分光を当てても復活自動受信を行うまで、最短で約30分かかります。

*2. 復活自動受信に失敗した場合は、充電不足で停止した時の時刻に戻り動き始めます。この場合は1秒運針していますが時刻が違っているため、強制受信または、手操作で時刻を合わせてからご使用ください。



時刻を手動で合わせる





りゅうずの位置

1. りゅうずの位置を 1 に引き出す

秒針が0秒の位置に移動します。

2. りゅうずを回して時刻を合わせる

- 秒針が一回転し、1分ごとに修正できます。
- 1時間単位での修正方法は、***28***ページをご覧ください。

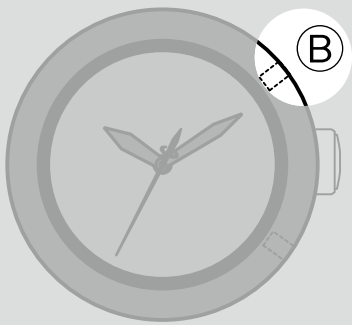
3. りゅうずを 0 位置に押し込む

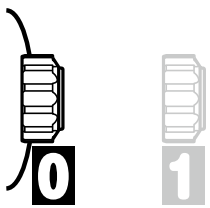
時報などに合せてりゅうずの位置を0段に押込み時刻の手動合せを終了します。

りゅうずを素早く連続回転させると、針が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。

時差修正の方法

時差修正する際は、受信機能を停止（受信OFF）させてからの修正をお勧め致します。（→*18*ページ）
海外で日本の標準電波を受信しても、日本の時刻へ戻る事を防ぎます。





りゅうずの位置

1. りゅうずの位置を 0 にする

2. Bボタンを押す

秒針が高速で往復運針後、通常運針に戻ると修正可能の合図です。

- 10秒間何も操作をしないと、自動的に修正状態が解除されます。

3. りゅうずを回す

針が高速で1時間分動き、通常運針に戻ります。右回しで進み、左回しで戻ります

・通常運針後、10秒以内でしたら何度も操作を繰り返す事ができます。
数時間の時差がある場合は、操作を繰り返し行って時刻を合わせてください。

4. Bボタンを押す

修正状態が解除されます。
・10秒間何も操作をしないと、自動的に修正状態が解除されます。

電波を受信しない状態では、月差±15秒の精度で時計は動きます。
日本時刻に戻す際は「受信ON」にした後、「定時または強制受信」にて電波を受信させ時刻を合わせてください。

基準位置を確認･修正する

電波時計は基準位置をもとにして、受信した電波時刻を針で表します。
外部からの強い衝撃や磁気などの環境におかれた場合、基準位置がずれる可能性があります。
電波受信しても時刻が正しく無い場合は、基準位置を確認し、修正してください。

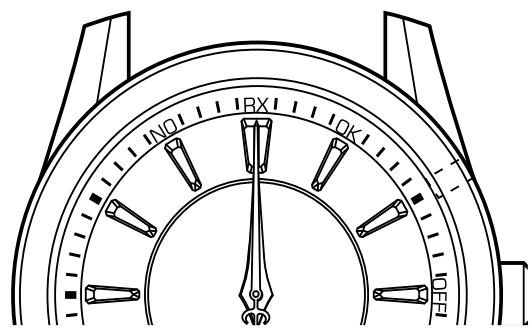
基準位置とは

時刻表示するために基準としている、針の位置のことです。

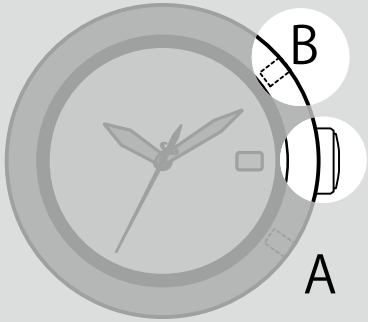
- 針の位置: 0時0分0秒

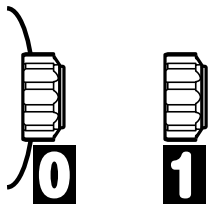
針が、正しい基準位置からずれていると、電波を受信しても、時刻が正しく表示されません。

正しい基準位置



基準位置の確認･修正方法





りゅうずの位置

1. りゅうずの位置を **0** にする

2. Bボタンを5秒以上押し続ける

各針が動き、現在の基準位置を表示します。

基準位置	次の手順
正しい	Bボタンを押すか、そのまま2分間放置で通常位置へ戻る
ずれている	修正する(手順３へ進む)

3. りゅうずの位置を **1** に引き出す

4. りゅうずを回して針を0時0分0秒に合わせる

5. りゅうずを0位置に押し込み基準位置の修正を終了する

これで正しい基準位置が記憶されました。

Bボタンを押すか、そのまま2分間放置で通常位置へ戻ります。

困ったときは

《電波受信機能》

故障かな?と思った時は、以下の項目をご確認ください。

状況	確認	対処方法
受信を開始しない。	●秒針が「RX:受信中」に移動してますか?	●Aボタンを押し続け、秒針がRX位置を指したら、ボタンを離してください。
	●受信OFFになっていませんか?	●P.18「電波受信のON/OFF」を参照ください。
受信はできるが、時報等の時刻と合わない。 針がNO/RX/OFFの丁度の位置を指さない。	●基準位置が正しくセットされていますか?	●基準位置を確認してください。基準位置が正しく無い場合は、P.30「基準位置を確認･修正する」を参照し合わせ直してください。

状況	確認	対処方法
受信できない。 （受信可能地域内で）	●電波をしゃへいする物やノイズを発生する物が近くにありませんか? ●窓から遠い場所で受信していませんか?	●電波をしゃへいする物や、ノイズが発生する物を避けて、時計の9時位置を窓際に向け受信してください。場所、方向、角度を何度か変えて窓際の受信しやすい場所を探してください。P.14《受信が困難な場所について》を参照ください。
	●受信中で秒針がRXを指している時に時計を動かしていませんか?	●受信が終了するまで（通常運針に戻るまで）時計を動かさないでください。
	●受信OFFになっていませんか?	●P.18「電波受信のON/OFF」を参照ください。

エコ・ドライブ（光発電）取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

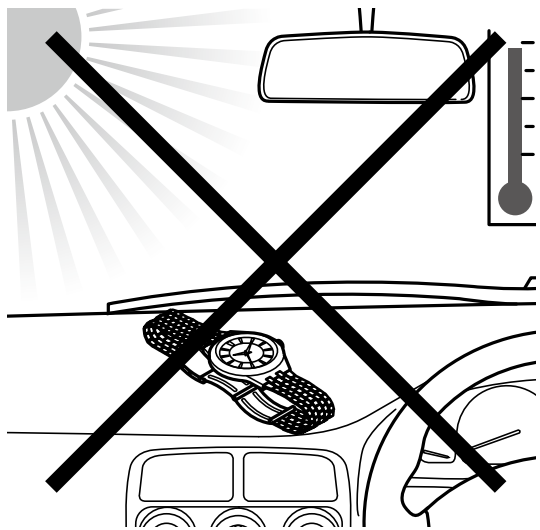
- 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

- 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約60℃以上）での充電は避けてください。

  例）
  - 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電

  ※白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
  - 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電



《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。

  ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。

  やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。

  万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。

  他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

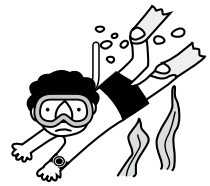
防水性能について

⚠ 警告 防水性能について

- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。(1bar は約1 気圧に相当します)
- WATER RESIST(ANT)×× bar はW.R.×× barと表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計(3 気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示 文字板又は裏蓋	仕様
非防水時計	――――――	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST(ANT)	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5 bar	5気圧防水
	WATER RESIST(ANT) 10/20 bar	10気圧防水、 20気圧防水

- 日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10/20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

	使用例				
	水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	 スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
	×	×	×	×	×
	○	×	×	×	×
	○	○	×	×	×
	○	○	○	×	×

お取り扱いにあたって

⚠ 注意 人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意 使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
  - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
  - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
  - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

＜バンドについて＞

- 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

- 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
  - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
  - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズンカスタマーサービスお客様修理受付係にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

＜温度について＞

- 極端な高温/ 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

＜磁気について＞

- アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。
  磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

＜ショックについて＞

- 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

＜静電気について＞

- クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

＜化学薬品・ガス・水銀について＞

- 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

＜保護シールについて＞

- 時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明(白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

保証とアフターサービスについて

＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用部品の保有期間について＞

当社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常７年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞

当社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

＜ご転居・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問合せ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞

- 防水性能について

  防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2 ～ 3 年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

- 分解掃除（内装修理）について

  腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として 5 年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜修理について＞

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問合せ窓口へご相談ください。

製品仕様

機種	H33*
型式	アナログソーラーパワーウオッチ
時間精度	非受信時（電波を受信していない時） 平均月差±15秒　常温（+5 ℃～+35 ℃）携帯時
作動温度範囲	−10 ℃～+60 ℃
表示機能	● 時刻:時、分、秒
付加機能	● 電波受信機能 （定時受信、強制受信、復活自動受信） ● 受信局自動選択機能（日本標準電波専用） ● 受信中表示機能（RX） ● 受信結果確認機能（OK,NO） ● 受信ON/OFF選択機能 ● 手動時刻修正機能 ● 基準位置確認／修正機能（0時0分0秒） ● 光発電機能

	● 充電警告機能（2秒運針） ● 過充電防止機能
持続時間	● フル充電後、充電しないで時計が停止するまで H335,336,339 ：約1.5年（パワーセーブが作動している時） ：約6ケ月（パワーセーブが作動していない時） H337 ：約3年（パワーセーブが作動している時） ：約8ケ月（パワーセーブが作動していない時） H330,H331,H338 ：約6ヶ月（パワーセーブ機能なし） ● 充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで H335,336,339,H337: 約2日 H330,H331,H338: 約5日 （持続時間は電波受信回数等によって異なります。）
使用電池	二次電池　1個

※製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

HAR04

CT049

EX040

http://citizen.jp/

Cal.H330
Cal.H331
Cal.H335
Cal.H336
Cal.H337
Cal.H338
Cal.H339